

測量機器の実習授業

社会基盤工学科

2025年(令和7年) 6月15日 日曜日

南 信 州 新 聞

卒業生から最新機器を学ぶ

社会基盤工学科 測量機器の実習授業

OIDE 長姫高

飯田OIDE長姫
高校社会基盤工学科
の3年生38人が13
日、最新測量機器実

習を飯田市鼎名古熊の矢高公園グラウンドで行った。市内の測量業者4社が協力し、最先端の測量技術を伝えた。

この日は4社から8人が講師として駆け付けた。従来の測量は2人1組で行っていたが、最新の測量機器は測点を自動で行えるようになり、1人で作業できる特長を伝えた。学校所有の測量機器とは異なり、生徒たちは興味深そうに操作して最新技術を学んだ。

3年前に同校を卒業し地元の測量会社に就職した森本京さん(21)も指導に携

最新測量機器を学ぶ生徒たち



わった。「自分もこの実習で測量の面白さを知った。仕事は大変な面もあるが、グ

ーグルマップに自分が手掛けた道が更新された時にうれしさを感じた」などと、やりがいを伝えた。

吉川諒介さん(18)は「測量の仕事に就きたいと思っているので、いろいろ学べて良かった」と話した。

飯田長姫土木会と測量設計業協会南信支部が協力。土木会の松田昌二会長(69)は「普段触れる機会がない最新の機械を学び、地域の建設業に若い活力を与えてほしい」と呼び掛けていた。

卒業生から

最新機器を学ぶ